

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎石井角保			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】　　【授業時間】 後期　　30時間</p> <p>【担当教員】 【氏名】　　【研究室】 ◎石井 角保　321 実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門基礎科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【D P 1】 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】</p>
------	---

到達目標	循環器疾患、脳・神経疾患、眼・耳鼻科疾患、運動器疾患について、各疾患の病態を理解する。
授業概要	循環器疾患、脳・神経疾患、眼・耳鼻科疾患、運動器疾患について、個々の疾患の病態生理を解説する。必要に応じて、主要症候とそのメカニズムに触れながら、病態の理解が深まるように配慮する。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（1） 学習内容：循環器総論 備考：</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（2） 学習内容：不整脈 備考：</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（3） 学習内容：心不全 備考：</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（4） 学習内容：虚血性心疾患 備考：</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（5） 学習内容：弁膜症、心膜疾患、心筋症 備考：</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（6） 学習内容：血管疾患、高血圧症 備考：</p> <p>7 授業内容 授業形態：対面 学習課題：脳・神経疾患（1） 学習内容：脳・神経総論（1） 備考：</p> <p>8 授業内容 授業形態：対面 学習課題：脳・神経疾患（2） 学習内容：脳・神経総論（2）</p>

	<p>備考 :</p> <p>9 授業内容 授業形態 : 対面 学習課題 : 脳・神経疾患 (3) 学習内容 : 脳血管障害</p> <p>備考 :</p> <p>10 授業内容 授業形態 : 対面 学習課題 : 脳・神経疾患 (4) 学習内容 : 変性疾患、認知症など</p> <p>備考 :</p> <p>11 授業内容 授業形態 : 対面 学習課題 : 脳・神経疾患 (5) 学習内容 : 感染性疾患、機能性疾患</p> <p>備考 :</p> <p>12 授業内容 授業形態 : 対面 学習課題 : 眼・耳鼻科疾患 学習内容 : 白内障、緑内障、難聴、嚥下障害他など</p> <p>備考 :</p> <p>13 授業内容 授業形態 : 対面 学習課題 : 運動器疾患 (1) 学習内容 : 運動器総論、骨折</p> <p>備考 :</p> <p>14 授業内容 授業形態 : 対面 学習課題 : 運動器疾患 (2) 学習内容 : 变形性関節症、脊椎・脊髄疾患</p> <p>備考 :</p> <p>15 授業内容 授業形態 : 対面 学習課題 : 運動器疾患 (3) 学習内容 : 末梢神経障害、骨粗しょう症</p>
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習 : 前もって資料をどこカレにアップロードするので、予備知識を得ておくと理解が進む。 ・事後学習 : 学習したことを定着させるため、資料を復習するのがよい。
評価方法、評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標に対し期末試験を実施し、その結果を100%として目標達成度を最終的に評価する。
必携図書	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を配布するので、特に指定しない。 ・図書館に参考図書を備えてあるので、隨時参照すること。また、必要であれば、自分が理解しやすいと思うものを購入し、学習を深めるのがよい。
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に所蔵しているメディックメディア発行の「病気がみえる」シリーズが簡潔にまとまっており、参考にするとよい。
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・私語は授業妨害とみなし、退室を求める。 ・始業20分後に出席をとるので、それ以降の入室は欠席とする。
教員からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の基礎となる科目ですので、頑張ってください。
オフィスアワー	